

「手探り」からの脱却と、顕微鏡で見極める 口腔内観察

～精密なミラーテクニックが導く、次世代の歯科衛生臨床～



林 智恵子
Chieko Hayashi

ネクスト・デンタル ソレイユメンテナンスクリニック

歯科衛生士の臨床において、マイクロスコープは単なる「拡大ツール」ではありません。それは、肉眼では捉えきれなかった初期病変や微細な組織の変化を「発見」するための強力な武器です。

本セミナーでは、顕微鏡歯科の基本であるミラーテクニックを徹底解説するとともに、その高い視認性を活かした「精密な口腔内観察」に焦点を当てます。

直視できない部位を鮮明に捉えるミラー操作を習得することで、縁下歯石の取り残し、補綴物の不適合、粘膜のわずかな変化をいかに確実に見極めるか、本セミナーでは、手探りを卒業し、根拠に基づいたアセスメントを行うための具体的なメソッドを提示します。

「見える」から「診える」へ。ミラー一枚が変える、歯科衛生士業務の新しいスタンダードを共に学びましょう。

【略歴】

1977年3月 日本大学歯学部歯科衛生士専門学校卒業

1977年4月 歯科医院勤務

1982年3月 結婚を機に退職

2002年4月 歯科医院勤務

2008年7月 ネクスト・デンタル 勤務

2013年 日本顕微鏡歯科学会認定歯科衛生士取得

2024年 日本顕微鏡歯科学会認定指導歯科衛生士取得